

瀬戸内町立図書館 令和3年 第13号 (2021. 11 No.13)

新着！図書だより

高校生向け

毎月第2・4金曜日にたくさんの本が入ってきます。
今回は、新着図書からその一部をご紹介します！！

高校1年生～3年生



『琥珀の夏』 辻村 深月著 出版社：文藝春秋

【内容紹介】

かつてカルト集団として批判された団体の敷地から子どもの白骨が発見された。弁護士の法子は、遺体は自分の知る少女ではないかと胸騒ぎを覚える。30年前の記憶が蘇り、忘れて大人になった者と取り残された者はやがて法廷へ。



『野球が好きすぎて』 東川 篤哉著 出版社：実業之日本社

【内容紹介】

アリバイは阪神 vs. 広島戦？ 捜査一課刑事の神宮寺つばめと謎のカープ女子が、野球ファンが起こす珍事件を名推理。カープファンである著者が全力投球した痛快ミステリ。



『転換期を生きるきみたちへ 中高生に伝えておきたいたいせつなこと』
内田 樹編 出版社：晶文社

【内容紹介】

世の中の枠組みが変化し、既存の考え方が通用しない歴史の転換期に、中高生に「これだけは伝えたい」という知見を集めたアンソロジー。言葉の力、憲法、愛国心…。若者たちにこれからの時代を生きるための知恵と技術を伝える。



『方言萌え!? ヴァーチャル方言を読み解く』
田中 ゆかり著 出版社：岩波書店

【内容紹介】

方言を演出的ツールとして用いることが SNS やゲームを始め巷で流行中！ そんな「ヴァーチャル方言」は、「リアル方言」にも影響を与えている。その関係をつぶさに観察し、日本語や日本社会の新たな断面を浮き彫りにする。



『高校図書館デイズ 生徒と司書の本をめぐる語らい』
成田 康子著 出版社：筑摩書房

【内容紹介】

北海道・札幌南高校の図書館。ここを訪れる生徒たちは、本を介して司書の先生に自分のことを語り出す。生徒たちの数だけある、彼らの青春と本にまつわるかけがえのない話を綴る。



『はたらく細胞 06』 清水 茜著 出版社：講談社

【内容紹介】

今、世間を騒がすあの「新型コロナウイルス」、このウイルスに感染した時、体内では何が起きているのか…!? 今、誰もが気になる大注目のエピソードを収録！ その他「たんこぶ」「左方移動」「iPS細胞」等、なじみ深いものから、よくわからないものまで体の中は大騒ぎ！ 話題騒然の体内細胞擬人化漫画、ついに最終巻！



『死物語 上』 西尾 維新著 出版社：講談社

【内容紹介】

デストピア・ヴィルトゥオーゾ・スーサイドマスターに会うため、故国を目指す忍野忍と阿良々木暦。人間社会が異常事態に陥った中、怪異にのみ感染するウイルスが吸血鬼を死に至らしめていて…。阿良々木暦の大学生編。



『死物語 下』 西尾 維新著 出版社：講談社

【内容紹介】

専門家の見習いとして、斧乃木余接、貝木泥舟と共に西表島へ向かう千石撫子。敵は蛇遣い・洗人迂路子・すべての元凶にして、臥煙伊豆湖の実の娘である。撫子が挑む“死闘”の結末は…。千石撫子の成長譚。



『薬屋のひとりごと 5』 日向 夏著 出版社：主婦の友社

【内容紹介】

宮廷では皇子が生まれ、玉葉后が正室になる。猫猫はいつものごとく事件に巻き込まれ、首を突っ込むことに。また壬氏からの命令で、玉葉后の故郷、西都へと向かうことになり…。



『薬屋のひとりごと 6』 日向 夏著 出版社：主婦の友社

【内容紹介】

西都にて、壬氏から求婚された猫猫。だが、己の立場を考えると首を縦に振ることはできない。猫猫は重い気持ちのまま、ある決断をくださるのだが…。